



間違いだらけ!「病院・医者」選び

No.	機関名	主な脳外科手術				所在地
		計	脳腫瘍手術	破裂脳動脈瘤手術	未破裂脳動脈瘤手術	
1	旭川赤十字病院	183	28	29	126	北海道旭川市
2	東京女子医科大学病院	172	119	—	53	東京都新宿区
3	藤田保健衛生大学病院	166	17	33	83	愛知県豊田市
4	富永病院	149	35	10	77	大阪府大阪市
5	神戸市立医療センター中央市民病院	132	30	17	56	兵庫県神戸市
6	中村記念病院	115	47	20	28	北海道札幌市
7	聖麗メモリアル病院	111	20	16	75	茨城県日立市
8	獨協医科大学病院	91	49	16	26	栃木県下都賀郡
9	慶應義塾大学病院	89	63	—	16	東京都新宿区
9	埼玉医科大学国際医療センター	89	16	20	19	埼玉県日高市
11	横浜医療センター	88	36	17	35	神奈川県横浜市
11	済生会熊本病院	88	19	21	48	熊本県熊本市
13	東京都立府中病院	86	20	29	37	東京都府中市
14	国立循環器病センター	82	11	19	32	大阪府吹田市
15	済生会八幡総合病院	80	22	13	45	福岡県北九州市
16	大西脳神経外科病院	79	20	17	42	兵庫県明石市
17	馬場記念病院	76	18	23	23	大阪府堺市
18	釧路孝仁会記念病院	73	20	—	53	北海道釧路市
18	北野病院	73	36	—	37	大阪府大阪市
20	大田記念病院	69	20	11	22	広島県福山市
20	虎の門病院	69	42	—	—	東京都港区
22	岩手医科大学附属病院	68	38	18	12	岩手県盛岡市
23	脳神経疾患研究所附属総合南東北病院	67	33	21	13	福島県郡山市
24	大阪脳神経外科病院	66	13	19	13	大阪府豊中市
25	横須賀共済病院	65	31	14	20	神奈川県横浜須賀野市
26	奈良県立医科大学附属病院	61	25	23	13	奈良県橿原市
26	厚地脳神経外科病院	61	22	18	21	鹿児島県鹿児島市
26	東海大学医学部付属病院	61	13	33	—	神奈川県伊勢原市
29	公立昭和病院	60	15	31	14	東京都小平市
30	手稲溪仁会病院	59	13	17	16	北海道札幌市
31	杏林大学医学部付属病院	58	17	25	16	東京都三鷹市
31	東京警察病院	58	58	—	—	東京都中野区
33	森山記念病院	56	23	19	14	東京都江戸川区
33	北里大学病院	56	25	16	—	神奈川県相模原市
35	福岡大学筑紫病院	55	13	—	30	福岡県筑紫野市
35	岐阜大学医学部附属病院	55	26	—	16	岐阜県岐阜市
37	東京医科歯科大学医学部附属病院	54	39	15	—	東京都文京区
37	広島市立広島市民病院	54	19	13	12	広島県広島市
39	順天堂大学医学部附属静岡病院	52	19	—	33	静岡県伊豆の国市
40	横浜市立大学附属病院	51	37	—	14	神奈川県横浜市
40	新小文字病院	51	27	11	13	福岡県北九州市
42	聖マリアンナ医科大学横浜西西部院	49	10	12	27	神奈川県横浜市
42	熊本赤十字病院	49	—	34	15	熊本県熊本市
44	北斗病院	47	10	—	37	北海道帯広市
45	十和田市立中央病院	46	10	10	26	青森県十和田市
46	青森県立中央病院	44	—	17	27	青森県青森市
47	弘前大学医学部附属病院	43	15	28	—	青森県弘前市
47	東京都立墨東病院	43	11	32	—	東京都墨田区
49	日本大学医学部附属板橋病院	42	23	19	—	東京都板橋区
49	新潟大学医学部総合病院	42	42	—	—	新潟県新潟市
49	倉敷中央病院	42	12	20	10	岡山県倉敷市

手術をすべきかどうかで迷ったらセカンドオピニオンを!

5ミ以上は手術の検討を

脳外科医が手がける主な手術のうち、難度の高い脳腫瘍とくも膜下の破裂脳動脈瘤開頭術(社会復帰可能な目安のICS30未満)と未破裂脳動脈瘤(開頭術と血管内治療)の手術数をまとめた。

脳が活動するための酸素と栄養を供給する血管が走る。その血管に動脈瘤ができ、破裂してもくも膜下出血をおこすと、血液が脳を圧迫し、あるレベルを超えると脳の正常な働きを困難にする。その結果、三分の一の人には後遺症が残る。三分の一は、命を落とすことになる。脳卒中の中でも致死率の高い病気にだけに、脳ドックを受診し、未破裂のうちに治療する人も増えている。

日本脳卒中学会が「脳卒中治療ガイドライン2009」の中で、「未破裂脳動脈瘤の治療」についても触れている。それによると、患者の余命が一〇〜十五年以上ある場合に①大きき五〜七ミ以上、または②五ミ未満であっても、③動脈瘤が複数ある、④破裂の多い脳底動脈・前交通動脈、および内頸動脈・

脳腫瘍、未破裂脳動脈瘤、破裂脳動脈瘤……ベスト50病院

脳疾患

後交通動脈分岐部などの部位に存在する、③動脈瘤の足元がしまつて治療がしやすいもの、形がいびつで破裂しやすい場合などで、治療が推奨されている。

治療の判断は、病院や医師の裁量も大きい。血管内治療の未破裂脳動脈瘤症例数三七で最多の名古屋大学医学部附属病院では、四ミ未満は経過観察。七ミ以上は手術を推奨。四〜六ミは、手術する長所と短所を説明し、患者の意思を反映させる方針をとる。大きき以外にも動脈瘤の形、年齢などを考慮する。経過観察の際には、一年に一度程度、三次元CT検査を実施。形や大ききをチェックし変化が認められるときは、破裂リスクが高ま

は、二五ミを超える巨大動脈瘤治療や、瘤の近くに重要な神経や血管があり、クリップがかけられず、トラッピング法での手術を求める患者が集まる。また、動脈瘤が見つかり不安がる患者に、大ききに関係なく手術を勧める施設もある。「ガイドラインで推奨されている大

きさは、五〜七ミ。主治医に納得できなければ、無用な手術を避けるためにも、別の医師の意見を聞くべきかも、別の」と名古屋大学医学部附属病院脳神経外科の宮地茂准教授は語る。両医師は「脳ドックで動脈瘤が見つかった」といつて、訪れる患者を気にかけてい

手術に迷ったらセカンドオピニオン

治療法には、開頭術(クリップ手術)と、血管内治療(コイル塞栓術)がある。開頭術では、頭蓋骨を開け、血管にできた動脈瘤の根元をクリップでクリップで留め、動脈瘤の中に血液が入らないようにして破裂を回避する。治療の歴史も古く、術後経過が良好なら再発の可能性は低い。こめかみの真下にある中大脳動脈や内頸動脈・後交通動脈分岐部の多くは、開頭術が適している。ただし、脳の奥にある脳底動脈や、内頸動脈では、クリップ

をかける操作で、穿通肢と呼ばれる細い血管や視神経を傷害し、後遺症が残る可能性もある。そこで、開頭術を補完する形で一〇年ほど前に導入されたのが、欧米を中心に実施されてきた血管内治療だ。血管にカテーテルを入れ、動脈瘤の中にプラチナのコイルを送り込む。コイルが入ることで、血流が滞り動脈瘤の中で血がかさぶたのように固まり、動脈瘤を傷か。残りの治療もでき、頭に傷が残りず、入院期間も短い。今年七月VRDと呼ばれる自己拡張型のステントで血管形成をして、コイルを入れる方法が保険適用となり、治療の可能性が拡大した。ただ、血管内治療は大きな動

脈瘤や、動脈瘤から重要な血管が出ていたときには、向かない。また、手術中に破裂などで出血すると対応が難しくなる。さらに、塞い込めばその動脈瘤に再度血液が入ってしまうケースが、一〇ミ以下の動脈瘤で三〜一〇%生じ、その際は再度手術となる。そのため術後検査が欠かせず、術後は、血液の流れをスムーズにする抗血小板剤を服用せねばならない。こういった治療の安全性を確保するためには日本脳神経血管内治療学会では、専門医制度を設け、手術実績をもつ指導医を認定し、HPで公表している。



をかける操作で、穿通肢と呼ばれる細い血管や視神経を傷害し、後遺症が残る可能性もある。そこで、開頭術を補完する形で一〇年ほど前に導入されたのが、欧米を中心に実施されてきた血管内治療だ。血管にカテーテルを入れ、動脈瘤の中にプラチナのコイルを送り込む。コイルが入ることで、血流が滞り動脈瘤の中で血がかさぶたのように固まり、動脈瘤を傷か。残りの治療もでき、頭に傷が残りず、入院期間も短い。今年七月VRDと呼ばれる自己拡張型のステントで血管形成をして、コイルを入れる方法が保険適用となり、治療の可能性が拡大した。ただ、血管内治療は大きな動

脈瘤や、動脈瘤から重要な血管が出ていたときには、向かない。また、手術中に破裂などで出血すると対応が難しくなる。さらに、塞い込めばその動脈瘤に再度血液が入ってしまうケースが、一〇ミ以下の動脈瘤で三〜一〇%生じ、その際は再度手術となる。そのため術後検査が欠かせず、術後は、血液の流れをスムーズにする抗血小板剤を服用せねばならない。こういった治療の安全性を確保するためには日本脳神経血管内治療学会では、専門医制度を設け、手術実績をもつ指導医を認定し、HPで公表している。

て、動脈瘤と向き合う」という覚悟が必要)とともに安易な脳ドック受診を戒める。くも膜下出血は、高血圧、糖尿、喫煙、くも膜下出血に罹患した親類がいる人、頭痛持ちなどに多い。該当するならば、結果を冷静に受け止める、と心に決め脳ドックを受けたい。

て、動脈瘤と向き合う」という覚悟が必要)とともに安易な脳ドック受診を戒める。くも膜下出血は、高血圧、糖尿、喫煙、くも膜下出血に罹患した親類がいる人、頭痛持ちなどに多い。該当するならば、結果を冷静に受け止める、と心に決め脳ドックを受けたい。